

# 拓動歩想

くくむう



秘めた想いを言葉にしたら、  
仲間と共に歩むことになった。  
自分自身が動くことで、  
一つの組織、一つの地域が、  
ゆるやかに動いていく。

続く未来を拓くために、  
地球の伴走者になろう。

## 続く地球。



# 繋 未来の地球へ。

フェイスブック「サスプログラム」奮闘更新中！

<http://www.facebook.com.susprogram/>



サステナブルな要素を持ったビジネスを応援することで持続可能な地域づくりに参加しよう！  
あなたの「いいね」が「1グラム」。そのひと押しが支援の力になります！目標は1000gです。

※フェイスブック「サスプログラム」はサスプログラム事務局が運営しています。

## プロセスマネージャーに なるための登録方法

右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリック、登録フォームに必要事項を記入して送信ボタンをクリックしてください。



※プロセスマネージャーの登録・管理はサスプログラム事務局が行っています。

## サスプログラム事務局：

株式会社 ピー・エス・サポート

〒464-0032 名古屋市千種区猫洞通5-21-2

ライフピア本山3階

電話 052-781-5770

発行：環境省中部地方環境事務所 環境対策課

編集者：株式会社 ピー・エス・サポート

担当：村田元夫、山下千尋、成田香澄

# 心を動かす事象アリ。想うチカラが繋げるチカラに。

持続可能な地域づくりのためにリスクを背負って課題解決に立ち向かう事業者。このほっとけない存在に寄り添って伴走支援する人がプロセスマネージャーです。

地域の課題は、一人のプレイヤーで解決できるものではありません。核となる事業者に共感して、一緒になって事業を応援してくれる仲間たちがが必要です。また、専門家、NPO、金融機関、企

業、大学、中間支援組織との協働も求められます。それぞれの能力を引き出し、個性あるキャストをつなぐ存在がいなければ、良い成果は生まれません。協働に欠かせない人材や地域資源をつないでいく役割もプロセスマネージャーの仕事です。

自ら高度な専門性を持っていなくても、事業者に寄り添って伴走すること、必要な資源をつなぐ役割が期待されているのです。

プロセスマネージャー

みしまちとせ  
**三島 知斗世**

●特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ  
理事・調査研究部長



いきものみつけファームとは、従来、食・農・環境とテーマごとに行われてきた教育活動をつなげ、生産者・流通業者・消費者・大学・行政・NPO等の多くの主体が関わる環境配慮が成り立つ農園。支援先=いきものみつけファームin松本推進協議会はその第1号です。

私に関わった一年間(設立2年目)は、土づくり・農業体験・いきもの観察・収穫・販売体験といった「農園でのプログラム」から一歩進み、環境教育人材づくり・企業のCSR参画の構想・リピーターやサポーター育成等、活動を発展させるチャンネルを生み出していく段階でした。その中で、各主体の専門性を活かした役割分担が進み、社会的価値の実感と対外的関係づくりが主体の力をより引き出していくのを伴走支援者として感じました。

自分が具体的な支援ができたとは思いませんが、各主体ができることを持ち寄る式の協働取組の「第二歩目」に必要な要素が教訓化でき、フォーラムを通してそれを全国各地と共有するリアルな関係が生まれました。このことは、今後の発展を支える力になっていくと思います。



想う人。

プロセスマネージャー

かとうわたる  
**加藤 亘**

●中小企業診断士



私の支援先である一般社団法人ClearWaterProjectは、水辺環境(=水質+水辺景観)を未来の子どもたちに残したくなるよう、Webサイトおよびスマートフォンアプリとして水辺情報共有サービス「AQMAP」を運営している団体です。

当団体は代表を含めた3人の常勤職員によって開発/営業を行っていましたが、資金力・開発人員・認知度・訴求力が課題となっていました。私の役割として、資金集めの安定化および一般層への訴求・ファン集めを主とし、加えて開発人員の確保を目標に設定しました。

私のプロジェクトへの関わり方は、隔週のミーティングのほかに、事業者らに私が関係する勉強会に参加してもらい、仮想的に役員会のような場を設定して事業戦略を検討したり、出店した展示会で営業活動をしたりしていました。

プロセスマネージャー活動の中で気付いたことは、必要性に気付いてもらう/実行してもらうことの重要性でした。このことは本業にも今後有用であると考えております。



歩む人。

## 自分にシカケル。地域にシカケル。地球にシカケル。

### 1 仕事に役立つスキルが身につく

地域課題に立ち向かう社会起業家や事業者を核に相互支援のチームを形成する活動場面で、コミュニケーション力、コーディネート力、マネジメント力などが実践を通して身につきます。中でも、「聴く力」の醸成を重視しています。

### 2 経営者の視野に触れることができる

地域課題の解決に取り組む社会起業家や事業者の目線に触れ、共に経営や地域の課題に立ち向かうことで、既存の業務では得ることのできない視野を身につけることができます。

## ■どんなミッションがあるの？

①事業や地域の課題を発見すること、②事業者の社会的価値を高めること、③事業者を核にチームを形成することなど、大きな社会的意義を持っています。

## ■どんな業務を担うの？

- 徹底的に話を聴く▶▶▶まず、①事業者やその関係者から「徹底的に話を聴く」ことが大切です。
- 資源の見える化▶▶▶その上で、②事業の経営資源及びそれ

を取り巻く地域資源を整理すること、すなわち「資源の見える化」が求められます。

- 支援プランの作成▶▶▶次に、③事業者のニーズを整理した上で必要な支援メニューを提案する「支援プランの作成」を行います。
- 外部資源のコーディネート▶▶▶そして、④支援チームを形成するために必要な「外部資源のコーディネート」へとつなげていきます。

## プロセスマネージャー

た なか まこと  
田中 誠

●ブラザー工業株式会社  
コーポレートコミュニケーション部



「子育て環境を変える!」という志を持った若手起業家の方を応援しています。持続可能な教育を志しても、プロとして自立するのは困難です。子育てをする親への支援には、当事者にしかわからない苦勞が多く、行政主導では解決できない課題が多くありました。

保育一筋で来た彼は、ビジネスマンのように資料をまとめたり、プレゼンテーションしたりする機会はほとんどありませんでした。彼が様々な人脈にお願いしたり、スーパーの入口で配ったりと努力して集めたアンケートを、私が集計してデータ化しプレゼン資料を作成する、といったこともしました。

最初は、自分にできることがあるのだろうかと不安でした。それでも、彼が苦手で私が得意なことは必ずあり、何かしら役に立つことができる、と今では実感しています。

“支援”というと与えているように聞こえますが、私は彼の“誰もやったことのない、誰もやろうとしない事へのチャレンジ”を、間近で見ることができエネルギーをもらっています。仕事でもプライベートにも良い影響を与えてもらっていると思っています。



## プロセスマネージャー

た なか かつ のり  
田中 克典

●電気通信サービス関連企業勤務 営業職



支援先は江戸時代末期から代々続く酒蔵で、地元に着してきた企業です。リユースびんの普及を目指して発足したプロジェクトから生まれた商品が地酒「めぐる」であり、我々の伴走支援はこのプロジェクトの社会的価値をいかに向上させるかを伴って考え、活動をするものでした。

そもそも「めぐる」は3R全てを体現する商品として企画され、潜在的価値や魅力は比類する商品を探すことも困難な程であることから、当初、事業者が望んだ支援は、商品の「販売促進」や会社の「経営環境の改善」など経済的活動の価値向上に主眼を置くものでした。

そのため私の役割は、事業者の話に傾聴し、言葉にならない想いを引き出し、プロジェクトの軸と事業者の想いがブレることが無いように、商品の魅力と可能性と一緒に俯瞰することで再認識してもらうこと、経済的な道筋と将来への展望を明文化することにありました。

中長期的視野と短期的視野を使い分け商品の長所を適切に捉える視点は、自身の目標設定や人生設計に置き換えることができると気が付きました。



## プロセスマネージャーを経験すると、どんないいことがあるの？

### 3 支援チームの中で化学反応が起きる

異質な専門性や経験を持つ支援チームのメンバーから学ぶことは多くあります。組織や部署を超えた課題解決チームの編成により化学反応が起き、創造的な交流が生まれます。

### 4 社外の人脈が構築できる

多様なセクター、多様な専門家とともに協働プロジェクトを展開することで、組織内では得られない仲間ができ、未来の仕事につながるあなた独自の人脈が構築できます。